

令和6年度 愛知医科大学看護学部学生生活実態調査 結果

無記名マーク方式調査

全回答数 321名(1学年 96名 2学年 73名 3学年 56名 4学年 69名 不明 27名)

回答率 73%

Q1 現在、住んでいるところ

自宅	<u>83.8%</u>
1人暮らし	15.3%
その他	0.9%

Q2 予習/復習に費やす平均時間

予習時間：平均 58.8分(最頻値 60分/97名 最大値 300分/1名 最小値 0分/30名)

1学年：平均 **49.7分** 2学年：平均 66.6分 3学年：53.8分 4学年：55.6分

復習時間：平均 57.5分(最頻値 30分/88名 最大値 300分/2名 最小値 0分/26名)

1学年：平均 61.6分 2学年：平均 60.5分 3学年：50.7分 4学年：**42.6分**

Q3 予習/復習時間の中でICT利用をしている時間

ICT利用時間

平均 94.8分(最頻値 60分/69名 最大値 350分/2名 最小値 0分/15名)

1学年：平均 **85.9分** 2学年：平均 93.8分 3学年：101.3分 4学年：88.1分

Q4 一週間のうちの朝食回数

0回 2.8%	1回 3.7%	2回 5.9%
3回 12.5%	4回 8.1%	5回 <u>67.0%</u>

Q5 一週間のうちの外食回数

0回 17.1%	1回 <u>44.2%</u>	2回 25.5%
3回 6.5%	4回 2.2%	5回 4%

Q7 一日の平均睡眠時間

5時間以下	24.0%
約6時間	<u>53.3%</u>
約7時間	17.4%
約8時間	3.1%
約9時間	1.9%
10時間以上	0.3%

Q8 睡眠習慣による日常生活支障度

全く支障がない	7.3%
少し支障がある	<u>38.9%</u>
いくらか支障がある	20.8%
とても支障がある	16.8%
きわめて支障がある	6.2%

Q9 一週間あたりのサークル・部活動の参加回数

1回	23.1%	2回	16.2%
3回	9%	4回	0%
5回以上	0.3%	入っていない	<u>50.8%</u>

Q10 一週間あたりのサークル・部活動への参加時間

1時間未満	5.3%
1-2時間	14%
2-3時間	20.2%
3-4時間	10.3%
4時間以上	0.9%
入っていない	<u>48.6%</u>
未回答	0.3%

Q11 奨学金受給状況

返済が必要な奨学金を受けている	15.9%
病院等に就職した際に返済が免除される奨学金を受けている	12.1%
現在は受けていないが、今後受けようと考えている	12.8%
受けていない	<u>50.2%</u>
未回答	0.6%
選択間違い	7.1%

Q12 奨学金受給理由

経済的負担が軽減される	24%
アルバイトが軽減される	2.2%
学費が軽減される	12.8%
皆もしくは、友人がもらっている	0.3%
親からもらうように言われた	11.8%
必要がないので貰っていない	<u>46.4%</u>
その他	1.2%
未回答	0.9%

Q13 一週間あたりのアルバイト時間

10 時間未満	27.7%
10-20 時間未満	<u>51.7%</u>
20-30 時間未満	10.3%
30 時間以上	1.6%
していない	7.2%
未回答	1.6%

Q14 現在の経済状況

とても苦しい	2.8%
苦しい	10.9%
どちらでもない	<u>34.3%</u>
あまり苦しくない	21.2%
苦しくない	29.6%

Q15 現在の不安や悩みの有無

ある	38.9%
ない	<u>59.2%</u>
未回答	1.6%
選択間違い	0.3%

Q16 不安や悩みの中で重要性・緊急性の高い順

	1 位	2 位	3 位
学業について	<u>41.8%</u>	18.3%	8.6%
友人などの交友関係について	7.5%	4.6%	6.5%
健康について	3.7%	7.3%	6.5%
部活動について	1.5%	2.8%	4.3%
アルバイトについて	2.2%	3.7%	8.6%
就職や将来の進路について	29.9%	<u>31.2%</u>	10.8%
異性の問題について	1.5%	0.9%	1.1%
経済的な問題について	4.5%	11%	9.7%
看護職への適性について	5.2%	17.4%	<u>24.7%</u>
家庭の問題について	0.7%	0%	2.2%
実習グループなどの学生関係について	0.7%	1.8%	9.7%
教員の対応について	0%	0%	2.2%
その他	0.7%	0.9%	5.4%

Q18 不安や悩みの相談先(複数回答) N=106

学生相談室	7.5%
アドバイザー教員	11.3%
アドバイザー以外の教員	6.6%
事務職員	0%
家族	<u>65.1%</u>
友達	61.3%
相談しない	8.5%

結果の総括

学生の居住状況については、約8割が自宅からとなっており昨年度と大きく変化はなかった。予習・復習に費やす時間は平均60分で、昨年度から5~7分程度少なくなっている。特に1学年次生と4学年次生の予習・復習時間がそれぞれ10~15分程度減っており、予習・復習に十分な時間を使えていない学生がいることが明らかとなった。学習におけるICT利用については、平均95分で、講義資料の電子化が最初に導入された3学年次生が101分と最も多くなっており、1学年次生は予習・復習時間に比しICT利用時間は少ないという結果であった。これら時間を問うアンケートへの回答については、選択肢の間違いと思われる誤記入が認められ、特に1学年次生に多く、それらを除外して集計しているため、結果に若干の影響があることが考えられる。

一週間の朝食摂取については約7割が5回と回答しており、外食割合とともに昨年と大きな変化は見られない。睡眠状況は、半数が「約6時間」と回答する中で、5時間未満が昨年に比べ1割以上増加している。睡眠習慣による生活への支障については全く支障がないと回答したのは1割弱で、9割強が何らかの支障があると回答しており、とても支障がある、きわめて支障があるを合わせて2割強であり、睡眠時間と生活への支障については、睡眠習慣が良好でない実態が継続していることが明らかとなった。

アルバイトやサークル・部活動への参加回数や参加時間は昨年と変化は見られなかった。奨学金の受給については、3割程度の学生が受給しており例年と変化は認められなかった。生活状況については昨年度よりも苦しいと回答する学生の割合は低下しておりどちらでもないが若干増えており、コロナ禍に比べ改善している傾向が認められた。現在の不安や悩みをあると回答したものは4割弱で、その内容は学業が最も多く、次いで就職や将来の進路、看護職の適正となっており、相談先は友達や家族が約6割といずれも例年と変化はなかった

今回の調査を通じて、学生生活は昨年とおおむね変化はないが、予習・復習時間に費やす時間が若干減っていることが明らかとなった。